シラバス(授業概要)年度2025年度時間数は50分換算科目コード2授業科目名授業形態学科・コースコミュニケーション活動 II講義・演習美容・ヘアメイク科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	鈴木 由美 森脇 勘成 吉澤 優人 岡村 迪子 森川 真琴

授業の目的・目標

様々な場面で柔軟に対応し、協調性ある行動ができるようになる。自身の学校生活を見直し、 身の回りの清掃整理を行い、成長のステップに繋げる。

授業の概要

イベント行事やグループ活動を通しコミュニケーションの重要性を理解する。日々の学業の振り返りを行い、生活環境を整える。

成績評価の方法

- 1. 平常点(主体的な授業参加度)
- 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢)

平常点

80%

学習意欲 20%

使用テキスト・ 教材

タブレット端末、筆記用具類

授業内容・授業計画

		時間数	時間
1.	オリエンテーション	4	
2.	11	4	
3.	11	4	
4.	11	4	
5.	学校行事	4	
6.	芸術鑑賞	4	
7.	II	4	
8.	健康診断	4	
9.	レクリエーション	4	
10.	II	4	
11.	II	4	
12.	II	4	
13.	学科活動	4	
14.	II	4	
15.	II	4	

その他関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

シラバス(授業概要)		年 度	2025年度	
フノハス(授業城安)	時間数は50分換算	科目コード	4	
授業科目名	授業形態	学科・コース		
ITリテラシーⅡ	講義•演習	美容•	ヘアメイク科	

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	鈴木 由美 森脇 勘成 吉澤 優人 岡村 迪子 森川 真琴

デジタルに強い学生を育てることで、現代の現場から求められるデジタルスキルやマインドを 磨く。リテラシーを高め、トラブルを未然に防げるような基礎を身につける。

授業の概要

SNSの活用方法、AIの活用方法など、幅広いデジタル活用方法を題材に学ぶ。

成績評価の方法

- 1. 課題(提出さえた課題の完成度と提出率)
- 2. 平常点(主体的な授業参加度)
- 3. 学習意欲 (授業意欲の有無、授業に取組む姿勢)

課題 40% 平常点 30%

学習意欲 30%

使用テキスト・ 教材

個人用PC、筆記用具類

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
オリエンテーション、インストール状況確認	2		
ITリテラシー①	2		
ITリテラシー②	2		
ITリテラシー③	2		
ITリテラシー④	2		
SNS活用	2		
IJ	2		
IJ	2		
AI活用	2		
IJ	2		
IJ	2		
デジタル活用 (応用)	2		
II	2		
II	2		
まとめ	2		30
	オリエンテーション、インストール状況確認 ITリテラシー① ITリテラシー② ITリテラシー③ ITリテラシー④ SNS活用 " " " AI活用 " " デジタル活用 (応用) " "	ITリテラシー① 2 ITリテラシー② 2 ITリテラシー③ 2 ITリテラシー④ 2 SNS活用 2 " 2 AI活用 2 " 2 ボジタル活用(応用) 2 " 2 " 2	オリエンテーション、インストール状況確認 2 ITリテラシー① 2 ITリテラシー③ 2 ITリテラシー④ 2 SNS活用 2 " 2 AI活用 2 " 2 ボジタル活用 (応用) 2 " 2

その他 関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

シュニッジュ	ス(授業概要		年』	度	2025年度		
2 3/1/2	時間数は50分換算		科目コ-	ード	5		
-	授業形態		学科・コース				
関係法規・制度			講義・演習		美容科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数		担当教員
2	前期	必修	30		1		佐々木 史

美容業に従事するために必要な、美容師法並びに衛生関連法等美容業に関連する各法律等の正 しい知識を身につけて、美容師試験の合格を目指す。

授業の概要

1. 日本における憲法を頂点とする法令体系と美容師法や衛生関連法の位置づけの把握 日本の衛生行政について 3. 美容師法について 4. その他関連法について 5. 試験対策

成績評価の方法

- I. 出席状況
- 2. 授業態度
- 3. 授業内での小テスト
- 4. 期末試験

平常点 40%

小テスト 20%

40% 期末試験

使用テキスト・ 教材

「関係法規・制度」日本理容美容教育センター 「ワークブック」日本理容美容教育センター その他のオリジナル教材

授業内容・授業計画

		時間数		時間数
1.	イントロダクション・日本の法制度の概要	2		
2.	衛生行政の概要	2		
3.	美容師法①目的と用語の定義	2		
4.	美容師法②美容師に関する規定	2		
5.	美容師法③美容師に関する規定	2		
6.	美容師法④美容師に関する規定	2		
7.	美容師法⑤美容所に関する規定	2		
8.	美容師法⑥美容所に関する規定	2		
9.	美容師法⑦立入検査と行政処分・罰則	2		
10.	関連法規①	2		
11.	関連法規②	2		
12.	まとめ	2		
13.	演習	2		
14.	演習	2		
15.	演習	2		
その			関連科目	

その他

※単元ごと演習課題を実施する。

※法学士称号を持つ教員が担当する科目であ

シーバラ	ス(授業概要	<u> </u>	年 度	2025年度			
2 1117	\ [文未似多	時間数は45分	換算	科目コード	7		
-	授業形態	19 4	学	学科・コース			
衛生管理Ⅱ			(講義)• 演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数	担当教員	
2	通年	必修	30		1	鈴木 宏 森川 真琴	

美容師法に基づく内容の把握する。衛生管理の重要性・必要性を身に付ける。美容師国家試験 のに合格するための必要な知識を取得する。卒業後も直結する内容も多いいため理解度を上げ る。

授業の概要

人の容姿を演出するための美容の仕事を通じて、人々の精神的健康に貢献できるよう人体の構 造に関する本知識を身につけることができる。 生管理3」では、身体の健康を脅かす感染症とその予防法及び消毒法の概要等に関する知識を 身に付け、自らの生活にも適用できる。

成績評価の方法

・定期試験(前期・後期試験)を実施し授業態度、出席状況を考慮して 成績を評価する。・評価目安 定期試験 ・授業態度・出席

定期試験 80% 授業態度・出

席

20%

使用テキスト・ 教材

公益社団法人日本理容美容教育センター発行

書名:衛生管理及びワークブック

授業内容・授業計画

時間数
30

関連科目 その他

※単元ごと演習課題を実施する。

※実務経験のある教員が担当する科目である。

美容保健

シラバス		年	度	2025年度			
2 3/1/	時間数は50分	科目コ	_ 7.	9			
	授業形態		学科・コース				
美容保健Ⅱ 講義・演習			習	770.5	美容•	ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数		担当教員
2	通年	必修	30	30			馬渕 佳奈子

皮膚・毛髪・人体の構造、機能に関する科学的また知識を美容技術と関連させながら学ぶ。 なぜ美容で人体の構造及び機能を関連させながら学ぶ必要があるのか考察する。 また、皮膚化学を知ることにより、美容がどのように人体に影響するのかを学ぶ。

授業の概要

安全で効果的な美容技術を提供するための基礎となるものを築く。 特に皮膚や毛髪などに関する保健衛生においては、衛生管理と関連させながら 体系的に知識の習得を行う。

成績評価の方法

定期試験(前期・後期試験)を実施し授業態度、出席状況を 考慮して成績を評価する。

定期試験 授業態度・出

席

森川 真琴

80%

20%

使用テキスト・ 教材

公益社団法人日本理容美容教育センター発行

書名:保健及びワークブック

授業内容・授業計画

その他

※単元ごと演習課題を実施する。

※実務経験のある教員が担当する科目である。

İ
1
28

関連科目

衛生管理

2,=,5-	ス(授業概要		年	度	2025年度		
ンプハン	時間数は50分換算		科目コ·	ード	12		
	授業形態						
美容文化論Ⅱ			講義		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数		担当教員
2	通年	必修	30		1		橋本 明奈 安冨 万里子

美容文化やファッションに関する知識や歴史を身に付け、幅広いデザイン提案ができる美容師になることを目指す。現在は過去の上に成り立っていることを理解し、またファッションや時事の出来事との繋がりを意識することがこれからの歴史を創っていく原動力となる。

授業の概要

日本の理容・美容の歴史及びファッション文化史を単元ごとに進めていく。各単元の最後に小テストを実施することで確実に知識を得る。

成績評価の方法

- 1. 授業への参加;遅刻・欠席の回数
- 2. 取り組み姿勢
- 3. 単元ごとの小テスト
- 4. 定期試験(前期・後期)

定期試験

80%

学習意欲 20%

使用テキスト・ 教材

参考資料の配布

文化論及びワークブック(公益社団法人日本理容美容教育センター発行)

授業内容・授業計画

		時間数	時間数
1.	第13節 現代(1960年代)	4	
2.	第14節 現代(1970年代)	4	
3.	第15節 現代(1980年代)	4	
4.	第16節 現代(1990年代~2010年代)	4	
5.	第5章 礼装の種類	2	
6.	和装・洋装の礼装	2	
7.	まとめ・国家試験対策	10	
8.			
9.			
10.			
11.			
12.			! ! !
14.			
15.			30
	b. t		

その他 | 関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

シラバス(授業概要)		年 度	2025年度
プラバス(技業機安)	時間数は50分換算	科目コード	13
授業科目名	授業形態	学	科・コース
運営管理	講義・演習	美容・	・ヘアメイク科
履修学年 履修学期 必修・選択	時間数 単	位数	扣

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	鈴木 由美 森川 真琴

職業理解と、業界理解を深める。また、それに付随する諸々の知識を身につけ、業界で活躍で きる

基礎を作る。

授業の概要

接客・経営管理・労務管理等の基本を学習。

成績評価の方法

定期試験(前期・後期試験)を実施し授業態度、出席状況を 考慮して成績を評価する。

定期試験 80% 授業態度・出

席

20%

使用テキスト・ 教材

公益社団法人日本理容美容教育センター発行

書名:運営管理及びワークブック

授業内容・授業計画

		時間数	時間数
1.	第1章-経営者の視点	4	
2.	経営とは	2	
3.	美容業の経営について	2	
4.	資金の管理	2	
5.	第2章-従業員の視点	4	
6.	人という資源	2	
7.	健康・安全な職場環境の実現	2	
8.	従業員としての視点から	2	
9.	第3章 - 顧客のために	4	
10.	サービスデザイン	2	
11.	マーケティング	2	
12.	人の役割	2	
			30

その他 関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

※実務経験のある教員が担当する科目である。

関係法規

シラバス(授業概要)		年 度	2025年度
フノバス(授業協安)	時間数は50分換算	科目コード	15
授業科目名	授業形態	学	科・コース
美容技術理論Ⅱ	講義・演習	美容•	ヘアメイク科

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴

美容技術の基礎を学び、職業意識を高めると共に美容の仕事の充実感を知る

授業の概要

必要に応じて、実際の道具や、画像・動画教材を使用し、理論と実際が結びつく授業を 展開する。

成績評価の方法

定期試験(前期・後期試験)を実施し授業態度、出席状況を 考慮して成績を評価する。

定期試験 授業態度・出

席

80%

20%

使用テキスト・ 教材

美容技術理論教科書 モノグサ

授業内容・授業計画

		時間数	時間数
1.	第8章 エステティック	10	
2.	第9章 ネイル技術	10	
3.	第10章 メイクアップ	10	
4.	第11章 日本髪	10	
5.	第12章 着付けの理論と技術	12	
6.	試験対策	8	
			60

その他 関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

※実務経験・資格保持教員が担当する科目である。

美容実習Ⅱ

z := z	ス(授業概要	ī١			年 月	ŧ	2025年	度	
シブハ	へ、技未似る	()	時間数は	50分換算	科目コー	ード	17		
	授業科目名		授業形態			学科	学科・コース		
美容実習Ⅱ(国試カット)			講義・演習 美容和		容科・	斗・ヘアメイク科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数		担当教員		
1 前期 必修			60		2	鈴木	由美 岩本 森川 真琴	ひとみ	
授業の目的 国家試験	ウ・目標 実技・衛生減点	なし							
松井へ振	.								
授業の概 国家試験課	え 題合格レベルに	.値する完成度	[と減点項]	目・減点数	女の把握				
成績評価の	方法								
	受業参加率						平常点	70%	
·	フ 1 分出田								
	スト結果						課題点	309	
チェックテ 果題提出	スト結果						課題点	309	
果題提出							課題点	30%	
果題提出 使用テキス	ト・教材						課題点	309	
東用テキス フット用具	ト・教材 類						課題点	309	
使用テキス カット用具 国試課題参	ト・教材 類 考資料						課題点	309	
果題提出 使用テキス カット用具	ト・教材 類 考資料						課題点	309	
東用テキス フット用具。 国試課題参	ト・教材 類 考資料 授業計画		時間数				課題点		
東用テキス フット用具 国試課題参 2業内容・ 1 国試	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導	拿入	時間数				課題点	時間	
東用テキス ツト用具 試課題参 1 国試 2 ブロツ	ト・教材 類 考資料 授業計画	∮入 ントと規定	時間数				課題点		
東用テキス リンは課題を リンは課題を 1 ファイ 2 ファイファイファ	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) キング・重要ポイン ル構成の把握・作	算入 ントと規定 業行程の把	時間数				課題点		
東用テキス の対 関 要用テキス の対 関 関 大 の は の は の は の の は の の の の の の の の の の の の の	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン	算入 シトと規定 三業行程の把 フ(行程とベー	時間数				課題点		
東用テキス リ 東 用テキス リ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン ル構成の把握・作 フイン・第3フロック フィン・第1フロック テム)	算入 ントと規定 三葉行榁の把 7(行榁とベー 7(行榁とベー	時間数				課題点		
東用テキス 型 関 提 出 要 用 更 用 更 大 用 関 要 ・ は に で は に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン ル構成の)把握・作 フイン・第3フロック テム) テム) アウトライン・両サ	算入 シトと規定 三業行程の把 7(行程とベー 7(行程とベー ・イドの作業行程	時間数				課題点		
東用テキス 7 対課 大内容・ 1 2 3 4 5 6 7 2 3 4 5 6 7 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン ル構成の把握・作 フィン・第3フロック テム) テム) アウトライン・両サ ほ確認 計測40分(算入 ントと規定 三葉行程の把 7(行程とベー 7(行程とベー -イドの作業行程 エアーカット)	時間数				課題点		
東用テキス 東用テキス 中試 大川 中試 大川 中試 大川 中試 大川 中 大川 大川 大川 大川 大川 大川 大川 大川 大川 大川	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン ル構成の)把握・作 フイン・第3フロック テム) アウトライン・両サ に確認 計測40分(チェック 計測40分	算入 シトと規定 三葉行榁の把 7(行榁とベー 7(行榁とベー ・イドの作業行程 エアーカット)	時間数				課題点		
東用テキス 切試 大田 中間 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン ル構成の把理・作 フィン・第3フロック テム) ・第1フロック テム) アウトライン・両サ ほ確認 計測40分(チェック 計測40分(チェック 計測40分(算入 ントと規定 三葉行程の把 フ(行程とべー フ(行程とべー エアーカット) (エアーカット) エアーカット)	時間数				課題点		
東用テキス 東用テキス 力試 業内 国 ブス握ス第スサ 全 全 全 全 全 全 全 全 全 全 全 全 全 年 程 程 程 程 程 程	ト・教材 類 ぎ資料 授業計画 果題(第一課題) 導 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	学入 ントと規定 三葉行程の把 7(行程とベー 7(行程とベー イドの作業行程 エアーカット) (エアーカット) エアーカット)	時間数				課題点		
東用テキス 提題 東用 ト課 内閣 大田題 大田題 大田題 大田題 大田題 大田題 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田型 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン アクシン・ ライン・第1フロック アウトライン・両サ は確認 計測40分(チェック 計測40分(チェック 計測28分(チェック 計測25分 全行程 チェック	算入 ントと規定 三葉行程の把 フ(行程とベー フ(行程とベー コ(下の作業行程 エアーカット) エアーカット) エアーカット) エアーカット) ニアーカット)	時間数				課題点		
使用テキス 提出 **	ト・教材 類 質資料 授業計画 果題(第一課題) 単 第一課題の が ・ が ・ が ・ が ・ が ・ 第3フロック テンク・ ライン・ ライン・ ライン・ ライン・ ライン・ ライン・ ライン・ ライン	学入 シトと規定 実行程の把 フ(行程とベー フ(行程とベー イドの作業行程 エアーカット) (エアーカット) エアーカット) エアーカット) エアーカット) 計測40分 計測33分	時間数				課題点		
東用・ス 提 東用・課 内 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ト・教材 類 考資料 授業計画 果題(第一課題) 導 キング・重要ポイン アクシン・ ライン・第1フロック アウトライン・両サ は確認 計測40分(チェック 計測40分(チェック 計測28分(チェック 計測25分 全行程 チェック	算入 ・ハと規定 ・実行程の把 フ(行程とベー フ(行程とベー ・イドの作業行程 エアーカット) エアーカット) エアーカット) エアーカット) 計測33分 計測28分	時間数				課題点		
使用・ス 提出 大 用題 次 本 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ト・教材 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 の の の の の の の の の の の の の	算入 ントと規定 実行程とべー フ(行程とべー フ(行程とべー イドの作業行程 エアーカット) エアーカット) エアーカット) エアーカット) 計測33分 計測28分 計測26分	時間数				課題点		
使用・ス 提出 大 用題 次 本 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ト・教材 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 の の の の の の の の の の の の の	算入 ントと規定 実行程とべー フ(行程とべー フ(行程とべー イドの作業行程 エアーカット) エアーカット) エアーカット) エアーカット) 計測33分 計測28分 計測26分		関連科目			題点		

	> - /47	ο 41. 101 111	. `			年月	叓	2025年	度
ン	/ラバス(授	美、概要	:)	時間数は5	0分換算	科目コー	ード	17	
	授業	科目名		授業刑	彡態		学科	コース	
美名	字実習Ⅱ([国試オー ブ)	ルウェー	講義・	講義・演習		美容科・ヘアメイク科		
履修	学年 履	修学期	必修・選択	時間数	単位	立数		担当教員	
1 前期 必修			90		3	鈴木	由美 岩本 森川 真琴		
	の目的・目 ^{大験} 実技・	-	点なし						
受業	 の概要								
		レベルに	値する完成度	と減点項目	減点数	め把握			
N. A. J. ad									
	評価の方法	7、>分分表h.)							
	態度(取り組み √クテスト結							平常点	70
						事題 課題 課題			
	角結果 全結果							課題点	30
試験								課題点	30
使用・	テキスト・ ポープ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教材 具類 験研修セ	ンター試験マ	ニュアル・	受験案内	۹)		課題点	30
大田	注結果 テキスト・ 孝 ンウェーブ用 ご録物	教材 具類 験研修セ			受験案内	٩)		課題点	
また 一業試 業内	たキスト・ 様・ナスト・ 様・ウェーブ用ご録物・考資料(試・ママ・授業計	教材 具類 験研修セ 画		ニュアル・	受験案内	A)		課題点	30
武勝 上第武 業 八 1	テキスト・ 様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	教材 具類 験研修セ 画 復習(5段	目含む)		受験案内	۹)		課題点	
武縣 一 一 業試 業 1 2	★結果テキスト・ 様・クウェーブ用・会資料(試)「本を・授業計4段目からの・6・7段日(メールカール)	教材 具類 験研修セ 十画 (15段 イボールカ・	目含む)		受験案内	J)		課題点	
武勝 上第武 業 八 1	たままた。 テキスト・ ・ファイン ・フィ ・フィ ・フィ	教材 具類 験研修セ 十画 (15段イボールカイン) 課題通し)	目含む) ール・クロッキ		受験案内	J)		課題点	
武縣 上 一 業	たままた。 テキスト・ ・ファイン ・フィ ・フィ ・フィ	教材 具類 験研修セ 十画 (15段イボールカイン) 課題通し)	目含む)		受験案内	٦)		課題点	
武 第 一業試 業 1 2 3 4	た テキスト・ マウェック 一 で で で で で で で で で で で で で	教材 具類 集験研修セ 十画 復習(5段 イボールカッ イン ル) 課題通し) 5分間(ル・	目含む) ール・クロッキ ープ完成皮重		受験案内	A)		課題点	
武影 上一个工作,一个工作,一个工作,一个工作,一个工作,一个工作,一个工作,一个工作,	集結果 テキスト・ マウェック 一で 一で 一で では では では 一で では 一で では ので では ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	教材 具類 験研修セーターのでは、 復習(5段カール) 課題通し) 5分間(ルーの分間(ルーの分間(ルークの分間(ルークの分間)	目含む) ール・クロッキ ープ完成皮重 ープ完成皮)		受験案内	J)		課題点	
武 東川 八 二 業	集結果 テキスト・ オ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	教材 具類 集験研修セ 十画 復習(5段カット) には、 は、 は、 は、 は、 は、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	目含む) ール・クロッキ ープ完成度重 ープ完成度) ランス完成度)		受験案内	٦)		課題点	
武 東川 八 二 業 試 業 1 2 3 4 5 6	奏結果 テキスト・ ・ フラスト・ フラック ・ フラスト・ フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト	教材 具類 験研修セ 十画 復習(5段(7ポール)) 課題通し) 15分間(ルーの分間(ルーの分間(ルーの分間(エミオ)) 分間(国民オ)	目含む) ール・クロッキ ープ完成度重 ープ完成度) ランス完成度)		受験案内	a)		課題点	
武 用 一業試 業 1 2 3 4 5 6 7	奏結果 テキスト・ ・ フラスト・ フラック ・ フラスト・ フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト フラスト	教材 具類 ・験研修セ ・	目含む) ール・クロッキ ープ完成度車 ープ完成度) ランス完成度) 采点基準把握)		受験案内	J)		課題点	
武 用 一業試 業 1 2 3 4 5 6 7 8 9	集結果 テキスト・ マウェック 一学 一学 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	教材 具類	目含む) ール・クロッキ ープ完成度重 ープ完成度) ランス完成度) 采点基準把握) 合格レベル80点 レーション)		受験案内	٩)		課題点	
武 東用 八 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	集結果 テキスト・オープー (まま) では、	教材 具類	目含む) ール・クロッキ ープ完成度重 ープ完成度) ランス完成度) 采点基準把握) 合格レベル80点 レーション)		受験案内	a)		課題点	
武 庚用 一	奏結果 テキスト・ブー (業) マキスト・ブー (大) マキスト・ブー (大) マキ・ブー (大) マキ・アウ (大)	数材 具類 、験面 (5段カー) (5段カー) (5段カー) (70) (目含む) ール・クロッキ ープ完成度重 ープ完成度) ランス完成度) 系点基準把握) 合格レベル80点 レーション) ローション)		受験案内	٩)		課題点	
武 庚用 小 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	集結果 テキスト・ プロティア 中	数材 具類 (5 pm) (5 pm) (5 pm) (6 pm) (7 pm) (7 pm) (7 pm) (8 pm) (8 pm) (9 pm) (9 pm) (1 pm)	目含む) ール・クロッキ ープ完成度 ープ完成度 ランス完成度) 系点基準把握) ・格レベル80点 レーション) ・な格レベル90点 ・ 合格レベル90点		受験案内	₹)		課題点	
武 東用 一業試 業 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	集結果 ・ オスト・ブー (業) ・ ブーナスト・ブー (大学) ・ アキスト・ブー (大学) ・ アキスト・ブー (大学) ・ アナン (大学) ・	数材 具 験 画 復 ボン課 500分間 (題 間 国) の 3分間 (国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国	目含む) ール・クロッキ ープ完成度 ープ完成度 ランス完成度) 系点基準把握) A格レベル80点 レーション) A格レベル90点) 合格レベル90点		受験案内	J)		課題点	
武 使用 一業試 業 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4	集結果 テキスト・プロテキスト・プロテキスト・プロテキスト・プロテナスト・プロテル・プロテル・プロテルト・プロテナスト・プロテナスト・プロテルト・プロテル・フェルー・プロテル・プロテルー・プロテル・プロテル・プロテル・プロテルー・プロテル・プロテル・プロテル・プロテル・プロテル・プロテル・プロテル・プロテル	数材 具類 では、 をする。 ををす。 ををを。 ををを。 ををを。 ををを。 をををををををを。 をををををををを	目含む) ール・クロッキ ープ完成度 ープ完成度 ランス完成度) ネト格レベル80点 レーション) ト格レベル90点 ト格レベル100点 ト格レベル100点		受験案内	٩)		課題点	
武 唐 一業試 業 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4	集結果 テキスト・ブー (業) 「マキスト・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・	数材 具類 では、 をする。 ををす。 ををを。 ををを。 ををを。 ををを。 をををををををを。 をををををををを	目含む) ール・クロッキ ープ完成度 ープ完成度 ランス完成度) ネト格レベル80点 レーション) ト格レベル90点 ト格レベル100点 ト格レベル100点	時間数	受験案件	J)		課題点	

2025年度 年 度 シラバス(授業概要) 時間数は50分換算 科目コード 17 授業科目名 授業形態 学科・コース 美容実習Ⅱ(国試ワインディン 講義 海習 美容科・ヘアメイク科 グ) 履修学年 履修学期 時間数 単位数 必修・選択 担当教員 鈴木 由美 岩本 ひとみ 前期 必修 90 3 1 森川 真琴 授業の目的・目標 国家試験 実技・衛生減点なし 授業の概要 国家試験課題合格レベルに値する完成度と減点項目・減点数の把握 成績評価の方法 授業態度(取り組み姿勢) 平常点 70%チェックテスト結果 本試験結果 課題点 30% 使用テキスト・ 教材 ワインディング用具類 授業記録物 国試参考資料(試験研修センター試験マニュアル・受験案内) 授業内容・授業計画 時間数 時間数 全頭22分(タイム内重視)衛生含む 全頭20分(早巻き16分) 2 衛生含む 全頭20分(左右対称) 3 衛生含む 全頭20分(スライスの完成度) 衛生含む 全頭20分(バランス重視) 5 衛生含む 6 全頭20分衛生含む 7 全頭19分衛生含む 全頭19分衛生含む 8 全頭18分+1分衛生含む 10 全頭18分+1分衛生含む 11 国試2課題通し シミュレーション 12 本試験(国試合格レベル80点) 1 3 国試2課題通し シミュレーション (実技・衛生減点なし) 関連科目 その他 担当は国試実習資格保持者であること

シーバラ	ス(授業概要	<u> </u>				年	度	2025年	度
2 3/1/2	へ(技術)	ξ)	時間数	は50分換	算	科目コ	ード	17	
	授業科目名	1	授	業形態			学	科・コース	
美容等	実習Ⅱ(カラ	-)	講義・演習		美容科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	数	単位	拉数 担当教員			
2	通年	必修	60		2	2	鈴木	:由美 岩本 森川 真琴	
授業の目的	• 目標								
「信頼とお金 授業の概要		ド師1年目」の) 	ために即	叩戦力と 	なる <u>.</u>	美容師@	か育成 <u></u>	0	
カラー技術に 自らレシピ考 施術を重点的	:おける基礎〜 条が可能とな]に行い、ハイ	・最先端のスキ よる理論と実践 プライトを用い	を組み	込むこと	によ	り即戦	力の美		モデル
成績評価の 定期テストで									
受講態度他は								平常点	100%
使用テキスト	- * 教材								
ハケ 赤2/黒2 カップ 赤2/ カラー材									
授業内容・授									
	3711781		時間数						時間数
1 モデル	通常カラー(3人		2						
7 .	迪冨カフー(3人		2						
3 4)	迪冨カフー(3人	.1組モアル2	2						
	連幂カフー(3人		2						
5 45ル	迪冨カフー(3人	、1組モテル2	2						
人)	通常カラー(3人1	組モデル2人)	2						
7 ウィッ	グハイライト	`	$\frac{}{2}$						
	グハイライト		2						
	ググラデーシ		2						i
	・ ググラデーシ		2						
	ィィィィ ・グリタッチフ		2						
	ィフィファフ ・グリタッチフ	:	$\frac{2}{2}$						İ
	ィファファフ ⁄ブリーチカラ		$\frac{2}{2}$						
,	· ブリーチカラ ·ブリーチカラ		2						
14			2						
その他			2	関連科	18				į
	よっかに ロッピー	ルナフ		为任作	тП				
※実務経験の	ある教員が担	当する							

3,=,5-	ス(授業概要	<u> </u>			年 度	2025年度
	、【文未似 多	τ)	時間数は50分換算		科目コード	17
;	授業科目名	l	授業形態	75	学	科・コース
	『習Ⅱ(シャ カウンセリン		講義·演	習		美容科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数	担当教員
2	前期	必修	30	-	1	池ヶ谷 慎一郎
授業の目的	• 目標					
・お客様の心	地よいタイミ	ニングやトーン	/で声掛けがて	きる		

- ・モデルの状態を判断し、適切な提案や判断ができる
- ・期待以上のシャンプーマッサージができる

授業の概要

1年次習得した技術を更に向上させる。より実践的なサロンシャンプーを習得する。

成績評価の方法

1, 主体的な授業態度 2, 学習意欲 3, オーディション

主体的な授業参 20% 加度

学習意欲 20%

オーディション 60%

使用テキスト・ 教材

シャンプー トリートメント アウトバス 炭酸 タオル シャンプークロス スタイリング に要する物(アイロン・スタイリング剤)

授業内容・授業計画

		時間数		時間数
1	シャンプーSPA反復練習	1		
2	シャンプーSPA反復練習	1		
3	シャンプーSPA反復練習	1		
4	シャンプーSPA反復練習	1		
5	オーディション 他者評価 Lv.2	1		
6	オーディション 他者評価 Lv.2	1		
7	オーディション 他者評価 Lv.2	1		
8	2年度最終オーディションLv.3	1		
9	2年度最終オーディションLv.3	1		
1 0	深い4タイプ理解 ワークショップ	1		
1 1	カットセミナー 前髪の似合わせ 提案プレゼン	1		
1 2	サロンワークの理解を深める	1		
1 3	サロンスタイル作り	1		
1 4	サロンスタイル作り	1		
15	発表会	1		
7.0	M.		田本も口	

2,=,3-	ス(授業概要	<u> </u>		年 月	隻	2025年度	
2 1117	時間数は50分換算		科目コー	4目コード 19			
-	授業形態 学科・コース			科・コース			
美容総合実習Ⅱ(JMA2級)		講義・演習		美容科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位	立数	担当教員	
2	前期	必修	30	-	1		徳差 あつこ 岡村 迪子

JMA2級を目指す

メイクアップの基本を学び知識と安定した技術力の土台を身につけて

正確で丁寧なメイクアップができるようになる

授業の概要

メイクアップ技術、知識だけではなく他者への気配り、美容従事者としての誇りをもち、職業 としてメイクアップにかかわる基礎を身につける

成績評価の方法							
1, 平常点(全体的な授業参加度) 2, 学習意欲(取り組む姿勢、マナー、社会人としての礼儀)	1	30%					
3, 試験結果(点数)	2	30%					
	3	40%					

使用テキスト・ 教材

日本メイクアップ技術検定試験公式テキストGRADE3,2、筆記用具、鏡、UTOWAメイクアップ道 具一式、消耗品など美容技術に必要な品物、ドール、クランプ

授業内容・授業計画

		時間数		時間数
1	2級試験要領顔のバランス分析、課題順序			
2	ベースメイクⅡブラシテクニック ファンデーション、パウダー			
3	ポイントメイクアップデクニック アイメイク			
4	ポイントメイクアップテクニック アイブロウ			
5	ベースメイク修正ブラシテクニック			
6	コントロールカラ―、コンシーラ ポイントメイクアップテクニックリップ、チーク			
7	色と形のバリエーションメイクテクニック			
8	色と形のバリエーションメイクテクニック			
9	色と形のバリエーション(リップ、チーク)メイクテクニック			
1 0	課題フルメイクアップ			
1 1	課題フルメイクアップ、スキンケア顔分析			
1 2	課題フルメイクアップ、スキンケア顔分析			
1 3	スキンケアテクニック (ローション乳液) ベースメイク〜ポイントメイク			
1 4	模擬試験レッスン①実技試験内容			
1 5	模擬試験レッスン②実技試験内容			
その	他		関連科目	
※実務	経験のある教員が担当する			
※説明	1、展示、実習で進行する			

シラバス(授業概要)年度
時間数は50分換算2025年度
科目コード授業科目名授業形態学科・コース美容総合実習Ⅱ(アイラッシュ)講義・演習美容・ヘアメイク科

履修学年	履修学期	必修・選択 時間数 単位数		単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	田中 成佳

授業の目的・目標

- ・まつ毛エクステンション技術のより現場に近い実践的な技術習得
- ・ラッシュリフト理論の知識習得

授業の概要

- ・エクステンションの装着の実践的なタイム感に近づけることを目指します。
- ・ラッシュリフト理論の知識習得を目指します。

成績評価の方法

- 1. 平常点 (授業に取り組む姿勢)
- 2. 課題・演習(技術の完成度)
- 3. 筆記試験結果

平常点

40%

課題・演習

50%

筆記試験結果 10%

使用テキスト・ 教材

テキスト:まつ毛エクステンション基礎

教材:ツィーザ、エクステンション、グルー、リムーバー

0. 3

時間数		時間数
1		
1		
2		
1		
1		
1		
6		
1		
1		
	1 1 2 1 1 1 6 1	1 1 2 1 1 1 6 1

その他関連科目

※単元ごと演習課題を実施する。

シラバス(授業概要)		年 度	2025年度	
プグス(技業概要)	時間数は50分換算	科目コード	21	
授業科目名	授業形態	学	4・コース	
美容総合理論Ⅱ (キャリア)	講義・演習	美容科	・ヘアメイク科	

履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	1	吉竹 てるみ

- ・顧客意識を高め、お客様に喜ばれる接客ができるようになる。
- ・コミュニケーションスキルを高め、チームで仕事をすることの重要性を学ぶ。
- ・就職活動に向けての心得と対策を学ぶ。

授業の概要

- ・サービス業において必要となる顧客意識とは何か、また具体的な表現方法の習得を目指しま
- ・お客様やスタッフ同士のコミュニケーションスキルの向上を目指します。
- ・就職活動においてのポイントを伝え、『絶対就職』を目指します。

成績評価の方法

1. 筆記試験(小テスト、学期末試験等の実施)	筆記試験	50%
	課題・演習	30%
	平常点	20%

使用テキスト・ 教材

- ・A4クリアファイル (ポケットファイル30枚~40枚程度) ・ノート (ルーズリーフ) ・筆記用具
- ・タブレット

授業内容・授業計画

※単元ごと演習課題を実施する。

汉木	74 75 末川 四	
		時間数
1.	オリエンテーション(シラバスの説明、授業の進め方、成績評価について) 1年次の復習	
2.	就職活動①(就職活動への取り組みと心構え・ 自己PRのポイント)	
3.	就職活動②(面接時の立ち居振る舞い) <演習発表>	
4.	美容師・販売員としての心構えと接客応対	
5.	接客応対の流れをロールプレイングで学ぶ	
6.	接客ロールプレイング総復習と発表 <演習発表>	
7.	クレーム応対について (初期対応の重要性)	
8.	コミュニケーションとチームで仕事をすることの重要性	
9.	テスト前の復習と学期末試験の実施 <学期末試験>	
10.	学期末試験の解答と解説、授業総まとめ	
11.	業界理解と職業理解①	
12.	業界理解と職業理解②	
13.	業界理解と職業理解③	
14.	業界理解と職業理解④	
15.	業界理解と職業理解⑤	
その	他	関連科目

] .	年 度	201	 25年度	
シラバス	ス(授業概要	長)	時間数(1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
	授業科目名	I		業形態			 学科・コ <i>ー</i> ス		
	卒業制作		講義	・演習		美容・	・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間	数	単位数		担当教		
2	通年	必修	30	1				森脇 勘成岡村 迪子	
授業の目的						•			
	·通じてチーム	、として企画す	⁻ る力、表	現する	力を身に	につける。 			
授業の概要) 企画 · 制作 •	運営・発表を	·行う						
		连百 元仪也	.11 20						
成績評価の									
ショーの完成	度・準備の参	ѷ加度・出席率	∞を評価の)対象と	する		平常	点 100%	
使用テキスト	~ • 教材								
ショーの内容	により変動。	各自準備する							
授業内容・授	受業計画								
1. ヘアショ 2. 発表 3. 4. 5. 6. 7.	ョ一企画・制作		時間数 28 2					時間数	
9. 10. 11. 12.									
7.04				日日かまない				30	
その他				関連科	目				